

# 平成29年度 事業報告書

新潟コンベンションセンター等指定管理者  
新潟万代島総合企画株式会社

## 1 新潟コンベンションセンターの利用実績について

### (1) 催事実施状況

平成 29 年度の催事開催件数は、展示ホール、メインホール、国際会議室のいずれかを利用する大規模催事の件数が前年度比 18 件増の 370 件、中小会議室のみを利用する催事が前年度比 39 件増の 518 件、全体で 57 件増加して 888 件となりました。

会場別の利用日数は、展示ホール、メインホール、国際会議室の全てが過去最多日数となった昨年度と比較して、展示ホールは 34 日増加して過去最多日数を更新しましたが、多くの会場を利用する大規模学会等の開催件数減少が影響してメインホールは 25 日、国際会議室は 4 日の減少となりました。

### (2) 来場者数

催事来場者数は、前年度比 129 千人増の 849 千人となりました。これは、展示ホールの利用日数が増加するなど来場者 1,000 人以上の催事が 3 件増の 74 件となり、その来場者数が 128 千人増となったことなどが反映されました。

### (3) 使用承認状況

平成 29 年度に使用承認を行った催事件数は前年度比 4 件減の 863 件で、開催年度別でみると平成 29 年度開催催事が 637 件、平成 30 年度開催催事が 211 件、平成 31 年度開催催事が 15 件でした。

## 2 新潟県万代島駐車場の利用実績について

万代島駐車場の利用は、来場者数が前年度と比較して増加したことを受け、総出庫台数が前年度比 8,391 台増の 671,055 台となりました。

内訳は、時間貸出庫台数が前年度比 22,569 台増の 317,442 台、定期出庫台数が 6,192 台減の 164,551 台、大型出庫台数が 214 台減の 745 台、無料出庫台数が 7,772 台減の 188,317 台でした。

## 3 維持管理業務など管理の業務の実施状況

### (1) 新潟コンベンションセンターにおける管理の業務の主な実施状況

新潟コンベンションセンターにおける日常管理、保守点検・設備運転監視、警備、清掃、植栽・モニュメント管理、除雪など各種施設管理業務については、基本協定書に定める仕様書並びに各種法令・規則・基準等に従って、適切に遂行しました。活動の一例を以下に示します。

- ① 床高 3m以上の位置にある耐熱強化ガラス及びエスカレーターの手すりガラスに、破損時に備えた飛散防止フィルムの設置工事を実施し、来場者の安全性向上を図りました。
- ② 館内 Wi-Fi 設備の機能付加改修を実施し、管理機能及びセキュリティ機能の向上を図りました。
- ③ 防火・防災対策の一環として朱鷺メッセ合同で 2 回、当社単独で 4 回の消防訓練を実施しました。
- ④ 有識者による技術評価委員会を 3 回開催し、維持保全業務の技術評価を実施しました。
- ⑤ 外部空間の危険予知と環境美化を目的に、社員による「外回り活動」を年間（4～11 月は週 2 回、冬期は不定期）実施しました。
- ⑥ 夏の涼感演出のため、ペDESTリアンデッキにグリーンカーテン（ゴーヤ）を設置しました。
- ⑦ 夏の節電対策として、ビル、ホテルと共同でエコ団扇を作成・配布しました。

## （2）新潟県万代島駐車場における管理の業務の主な実施状況

- ① 3 月から駐車場 B2 の一部（ひょうたん駐車場）を新潟交通に面貸し、バス駐車場として供用開始しました。
- ② 新潟行政事務所からの助言により、横断歩道に接する歩行路から E 駐車場 1F エレベーター前までの間に誘導ブロックを設置しました。
- ③ 大規模コンベンション開催時等において、臨時警備員配置により各駐車場内の円滑な入出場支援と事故防止に努めました。
- ④ その他、仕様書に則り、新潟コンベンションセンターと連携した警備業務、各種設備・機器の保守点検業務、適切な植栽管理業務や除雪業務、清掃業務等を実施し、駐車場利用者に気持ちよく利用していただけるように努めました。

## （3）新潟港港湾緑地における管理の業務の実施状況

- ① 6 月からリバーフロントパークにおいて平成 29 年度フラワーベッド設置試験を開始し、コキア、ラベンダー、ガウラの 3 種類を栽植しました。
- ② 7～9 月の間、臨港道路歩道にフラワーハンギングバスケットを設置しました。
- ③ 12 月 27 日～1 月 31 日まで萬代橋下流の賑わい創出を図るため、ロングプロムナードの一部でイルミネーションを実施しました。
- ④ 不特定多数の来場者が気持ちよく利用していただけることを念頭に、犯罪・迷惑行為の防止に留意した警備業務や公衆トイレの清潔さを保持する清掃業務を実施しました。
- ⑤ リバーフロントパーク等を憩いの場として提供するため、寄せ植えの刈り込みや高木剪定、除草や芝刈りなどの植栽管理業務等、仕様書に則って適切な維持管理業務に努めました。

#### 4 新潟コンベンションセンター等の施設収支状況

##### (1) 全般状況

新潟コンベンションセンター及び新潟県万代島駐車場、新潟港万代島緑地の3施設をあわせた収入額は1,031,366千円(税込)となり、支出額については913,663千円(税込)で、今年度の収支は117,703千円(税込)となりました。

なお、各部門別の収支状況の詳細については、別紙「平成29年度収支実績」※のとおりです。

※収支実績は、売上戻り高を控除し、施設内部取引額や駐車場回数券値引額を非控除とした税込の収支額

##### (2) 新潟コンベンションセンターの収支状況

新潟コンベンションセンターの消費税込みの収入は、697,921千円となり、前年度比53,053千円の増収となりました。

このうち施設利用料収入額※は569,304千円で、前年度に比べて86,965千円増となりました。これは、利用単価の高い展示ホールの利用日数が過去最多となったことなどを反映しました。

支出については、イベント経費や事業協賛金などの増加により事業費が24,042千円増加したことなどから支出全体は前年度と比較して42,126千円増の712,278千円となりました。

以上の結果、新潟コンベンションセンターの収支は14,357千円の支出超過となりました。

※自主企画事業等での内部取引額を含んだ収入額となります。

##### (3) 新潟県万代島駐車場の収支状況

新潟県万代島駐車場の消費税込みの収入は331,937千円で、前年度比27,073千円増となりました。

このうち利用料金収入額※は321,445千円で、前年度と比較して18,350千円の増加となりました。利用料金の内訳は、催事来場者数の増加を反映して時間貸売上が18,247千円増、回数券売上は2,207千円増となりました。一方、利用の減少した大型売上と定期券売上はそれぞれ439千円減、1,665千円減となりました。

支出については、大規模催事での臨時警備費、植栽管理費、消耗品費などの維持管理費や県納付金の増加が影響して前年比20,362千円増の180,571千円となりました。

以上の結果、新潟県万代島駐車場の収支は、151,366千円となりました。

なお、新潟県納付金は、前年度比9,200千円増の20,700千円となりました。

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引額を非控除とした税込の収入額となります。

#### (4) 新潟港万代島緑地の収支状況

新潟港万代島緑地の消費税込みの収入は、新たに設置した自動販売機の販売手数料収入による10千円及び中規模修繕費用の1,498千円を指定管理料として収入したのみとなりました。支出については主に植栽管理費などの維持管理費の減少により、前年度比1,949千円減の20,814千円となりました。

以上の結果、新潟港万代島緑地の収支は、19,306千円の支出超過となりました。

### 5 その他事業計画書記載事項の実施状況

#### (1) 新潟コンベンションセンターにおける事業計画書記載事項の実施状況

平成29年度のMICE誘致の取り組みでは、「経済波及効果の高いコンベンション」として大規模学会、大会、会議が43件開催されました。

また、「県民の多くが利用・参加できるイベント」では、「光の世界旅行inときメッセ」「大トリックアート展inときメッセ」などを自主企画事業として主催・共催したほか、花絵や七夕飾り、クリスマス装飾など信濃川右岸に位置する「新潟日報メディアシップ」「万代シテイ」「NST」と連携したイベントを開催し、新潟のシンボルゾーンとしての賑わいを創出しました。

これらにより、平成29年度は事業計画書に目標として掲げた目標稼働率を下表のとおり達成し、新潟コンベンションセンター等の管理に関する基本協定書に定められた基準稼働率（展示ホール単体で61%、3施設平均で66%）を上回りました。

区分	目標	平成29年度実績	
	日数	日数	稼働率
年間稼働可能日数	353	353	—
展示ホール	218	256	72.5%
メインホール	271	251	71.1%
国際会議室	216	225	63.7%
合計	705	732	69.1%

#### (2) 新潟県万代島駐車場における事業計画書記載事項の実施状況

平成29年度は事業計画書に基づき、MICE開催をサポートする運営、多様な利用者ニーズに応じた柔軟性のある運営、安全安心を最優先とする駐車場管理に努めました。

MICE開催をサポートするため、3月15日から駐車場B2の一部（ひょうたん駐車場）を新潟交通に面貸し、バス駐車場として供用開始しました。これに伴い佐渡汽船線便数の倍増と新たにピアBandai前バス停の新設を新潟交通と合意し、3月30日のバスダイヤ改正により万代島地区のアクセス向上を図りました。

また、不特定多数の来場者が参加する催事の主催者に対して割安感のある回数券販売を促進するなど多様なニーズに応じてサービス向上に努めました。

そのほか大規模催事開催時において、安全誘導やおもいやり駐車場として運用している万代島駐車場Cへの臨時警備などを実施しました。

### (3) 新潟県万代島緑地における事業計画書記載事項の実施状況

平成 29 年度の新潟県万代島緑地の管理運営は、緑地が県民の憩いと安らぎの場となるよう仕様書に基づいて適切に管理しました。管理にあたっては土壌の環境保全や樹木の健全な育成に配慮しました。

また、将来におけるリバーフロントパークフラワーベッドの整備を念頭にリバーフロントパークの一部にテストベッドを設置し、コキア、ラベンダー、ガウラの 3 種類を栽植しました。

そのほか港湾事務所の実施する信濃川沿いの魅力向上を図る事業と連携し、年末から 1 月末までロングプロムナードの一部でイルミネーションを実施して信濃川沿いの魅力向上を図り、萬代橋下流の賑わい創出に努めました。

## 6 自己評価及び利用者の意見

### (1) 自己評価

平成 29 年度の新潟コンベンションセンターは、管理運営の基本方針に基づき目標稼働率の達成を目指して事業活動を展開し、大規模な全国学会、会議、大会を最重要ターゲットとして誘致に取り組みました。

その結果、「日本外科代謝栄養学会第 54 回学術集会」「第 61 回宇宙科学技術連合講演会」「2017 IACAT Conference」、「自治労第 90 回定期大会」などの大規模な全国学会、会議、大会を開催しましたが、大規模な全国学会等の開催件数が大きく増加した前年度と比較すると 4 件減の 43 件、その来場者数は前年度比 30 千人減の 38 千人となりました。

一方で単一会場のみで利用可能な講演会・セミナーや文化・コンサート・スポーツなどの開催は増加しました。このため、平成 29 年度における全体の催事開催件数は前年度比 57 件増の 888 件となりました。

多くの会場を利用する大規模学会等の開催件数が減少するなど全施設の延べ利用日数の合計は前年度を下回りましたが、利用単価の高い会場の利用日数が増加したことから、コンベンションセンターの施設利用料収入も前年度と比較して増加しました。

### (2) 利用者の意見

#### ① 「ご利用者（主催者）アンケート」

新潟コンベンションセンターを利用した催事的主催者、使用責任者等に対してアンケートを実施し、施設グレード・清潔感や貸出備品に関すること、社員の対応、万代島駐車場に関すること等について回答を頂きました。

このうち、「社員の対応」「利用満足度」「会場の使い勝手」については、今年も引き続き高い評価をいただきました。

「案内表示」についても、「満足」「まあ満足」を合わせた評価が今年も90%を上回りました。

「駐車場」「交通アクセス」については、例年、他の項目と比較して満足度が低く、特に「交通アクセス」は今年も「満足」「まあ満足」を合わせた評価が80%を切り、4年連続下落しました。このような中、3月に交通アクセスの改善を図るため、関係各所との1年間に渡る協議を経て従来のほぼ2倍となるバスダイヤを確保しました。

## ②「ご来場者アンケート」

朱鷺メッセに何らかの目的を持って来場された方を対象としてアンケートを実施し、朱鷺メッセを訪れた方の目的や利用交通機関、施設・交通の利便性、万代島駐車場の使い勝手等についてご意見を伺いました。

なお、アンケートの46.9%が展望室の見学や万代島美術館への来場者などからのものでした。

集計結果は、全ての項目で「満足」「まあ満足」は上昇しました。特に「館内案内表示」「休憩コーナーの使い勝手」「やすらぎ感（快適さ）」については「満足」「まあ満足」に「適当」を含めると90%前後となりました。利用交通機関利便性の満足度は若干上昇しましたが、依然として評価は低いものとなりました。

また、個別の催事に対するご意見も頂きましたので、各主催者にお伝えしました。

## 7 管理の業務における懸案事項

### (1) 目標稼働率達成に向けての取り組み

全国各地でMICE誘致の取り組みが活発になる中、県内外のキーパーソンや主催者に対する積極的な営業活動を実施することにより、平成30年度の目標稼働率達成に努めます。

### (2) 大・中規模修繕の計画的な実施

開業から15年が経過し、機器・設備の更新や施設建築物の修繕等に係る経費が年々増加傾向にあります。今後も施設を良好な状態で維持し、お客様に安全、安心で快適な環境を提供できるよう、新潟コンベンションセンター等維持保全計画に基づく大・中規模修繕を県と緊密な協議を行いながら進めてまいります。

### (3) 多目的広場の駐車場転用

アンケート調査等で要望の多い「駐車場の使いやすさ」の改善を図るため、コンベンションセンターの至近に位置する多目的広場を駐車場に転用します。駐車場からの移動距離を短くすることで来場者の利便性向上を目指します。

〈別紙〉

平成29年度 収支実績

(収入)

単位:千円 税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料金収入	569,304	321,445	0	890,749
2 自主企画事業収入	37,375	0	0	37,375
3 指定管理料	44,137	9,365	1,498	55,000
4 その他収入	47,105	1,127	10	48,242
収入計A	697,921	331,937	1,508	1,031,366

(支出)

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	132,837	15,284	3,507	151,628
2 事業費	110,362	21,000	159	131,521
3 維持管理費	408,516	137,937	15,821	562,274
4 運営事務費	60,563	6,350	1,327	68,240
支出計B	712,278	180,571	20,814	913,663

収支(A-B)	C	▲ 14,357	151,366	▲ 19,306	117,703
---------	---	----------	---------	----------	---------

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込みの額となります。

※センター利用料金収入には自社取引を含んだ額となります。



## 平成29年度 収支実績(内訳)

(収入)

単位:千円 税込

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 利用料金収入	569,304	321,445	0	890,749
2 自主企画事業収入	37,375	0	0	37,375
3 その他収入	47,105	1,127	10	48,242
収入計A	653,784	322,572	10	976,366

(支出)

項目	センター	駐車場	緑地	計
1 人件費	132,837	15,284	3,507	151,628
2 事業費	110,362	21,000	159	131,521
自主企画事業	64,876	0	137	65,013
誘致広報業務	18,500	99	22	18,621
新潟県納付金	0	20,700	0	20,700
その他事業費	26,986	201	0	27,187
3 維持管理費	408,516	137,937	15,821	562,274
中規模修繕費	32,674	9,365	1,498	43,537
維持管理業務経費	375,842	128,572	14,323	518,737
4 運営事務費	60,563	6,350	1,327	68,240
事業所税	13,473	0	0	13,473
その他運営事務費	47,090	6,350	1,327	54,767
支出計B	712,278	180,571	20,814	913,663

指定管理料を除いた収支 (A-B) C	▲ 58,494	142,001	▲ 20,804	62,703
------------------------	----------	---------	----------	--------

指定管理料D	44,137	9,365	1,498	55,000
--------	--------	-------	-------	--------

指定管理料を含めた収支 (C+D) E	▲ 14,357	151,366	▲ 19,306	117,703
------------------------	----------	---------	----------	---------

※駐車場利用料金収入は、売上戻り高を控除し、回数券の値引き額を非控除とした税込みの額となります。

※センター利用料金収入には自社取引を含んだ額となります。